

# 平成30年度「Go! Go! エシカル」わくわく徳島プロジェクト

## 1. 研究テーマ (PLAN)

### 穴吹高校エシカル2018 ～考え、学び、行動しよう～

近年、環境や被災地の復興、開発途上国における生活改善等の社会的課題に配慮した商品・サービスを選択し、消費する「エシカル消費」への関心が高まる一方で、「エシカル消費」に対する認知度は、まだ低く、社会全体で「エシカル消費」への機運を高めていくことが重要である。

本年度は、全学年生徒を対象した講演会を開催し、「エシカル消費」の理念・目的や具体的取組等の基礎的・基本的理解を通して、持続可能な社会の実現に向けて、主体的に行動することができる消費者の育成を図る。また、本年度より結成された「エシカルクラブ」では、地域と連携した活動を「消費者教育」の観点から再構成すると共に、消費活動における課題の抽出、他校や徳島県の先進的な取組の理解等を通して、「エシカル消費」の普及・啓発に貢献できる人材の育成を図る。

## 2. 学校の概要

学校名 徳島県立穴吹高等学校  
所在地 美馬市穴吹町穴吹字岡3番地  
校長名 前田 茂  
担当者 森實 琴美 向井 和博

全日制普通科単位制高校として、多様な学校設定科目、専門科目を設定することで、生徒一人一人の進路に応じたカリキュラムを編成し、きめ細やかな指導を徹底している。平成30年5月1日現在の生徒数は194名。過去オリンピック選手を9人輩出している。

## 3. 本年度の具体的取組 (DO)

### ①アンケートの実施

6月末、エシカル消費の理解や実践について、生徒・職員を対象にアンケートを実施しました。理念の理解や実践において、多くの課題が捉えられました。



### ②ラベンダーを活用した匂い袋の製作



6月29日(金)、匂いに一定のヒーリング効果があると言われているラベンダー。養護教諭が保健室に設置していましたが、「食品ロス」の観点から、花と葉を乾燥させ、匂い袋に加工しました。食品だけでなく、全盛期を過ぎた地域の草花も再利用・商品化できるのです。ずっと交流を続けている穴吹町の福祉施設にプレゼントしました。

### ③「エシカル消費講演会」の開催



11月19日(月)、四国大学短期大学部ビジネス・コミュニケーション科教授 加渡いづみ氏を講師として招聘し、「エシカル消費講演会」を開催しました。食品ロスやプラスチックゴミの現状、寄付付き商品とフェアトレードの意義や具体例、エシカル消費の3つの視点である「環境を思いやる」、「人や動物の権利を守る」、「地域を意識する」等についてわかりやすく説明をしていただきました。

私たちの毎日の行動が「未来」と「世界」を変える!

### ④エシカルクラブ・ワークショップの開催



11月19日(月)、「エシカルクラブ」の生徒を対象に、ワークショップを行いました。原料・施設・技術・財力等に格差をつけたグループ(国)に分かれ、交渉や国内努力をしながらお金を稼ぐという「貿易ゲーム」を通して、フェアトレードの意義を体感しました。生徒からは、「交渉・連携・協力が機能すれば、先進国も途上国も裕福になれる」という感想が聞かれました。

### ⑤オーガニックコットンを利用した座布団製作



10月より、オーガニックコットンを活用した座布団製作を開始しました。先生から、フェアトレードについての話を聞いた後、エシカルクラブのメンバーが製作に取りかかりました。この座布団は、駅や福祉施設に贈呈します。

### ⑥地域に向いての交流活動・広報活動



長年に渡り防災風鈴や座布団を置かせてもらっている穴吹駅より、平成29年度、感謝状をいただきました。今後は、オーガニックコットンで製作した座布団も置かせていただきます。

## 4. 成果・評価 ～エシカル消費アンケート結果から捉えられる生徒の意識の変容～ (CHECK → ACTION)

| NO | 質問  | 6月 | 12月 |
|----|---|----|-----|
| 1  | 「エシカル消費」または「倫理的消費」という言葉を知っている。              | 6  | 73  |
| 2  | 自分は「社会の役に立ちたい」と思う。                          | 78 | 82  |
| 3  | 食品を購入する際は、「栄養・塩分・糖分」等について考慮する。              | 47 | 58  |
| 4  | 「地産地消」の商品(地元で生産や加工された農作物や商品)を購入する。          | 38 | 51  |
| 5  | 徳島の「地域資源」について知っている。                         | 9  | 51  |
| 6  | 徳島や地域社会について知っている。(自然、歴史、産業、文化、人等)           | 40 | 52  |
| 7  | 買い物に行ったときは、「レジ袋」を断る。                        | 17 | 34  |
| 8  | 家庭では、「電気」をこまめに消す。                           | 74 | 77  |
| 9  | 「環境」に配慮した商品を購入する。                           | 36 | 49  |
| 10 | 「フェアトレード商品」を購入する。                           | 12 | 25  |
| 11 | 「寄付付き」の商品を購入する。                             | 11 | 37  |
| 12 | 「社会貢献」に繋がる商品を購入する。                          | 13 | 37  |
| 13 | 被災地に向けて「寄付」や「物資提供」をする。                      | 22 | 40  |
| 14 | 商品やサービスを選ぶ際に、「品質や価格」を重視して選ぶ。                | 65 | 74  |
| 15 | 商品やサービスを選ぶ際に、品質や価格だけでなく、「社会や環境への影響」を考慮して選ぶ。 | 26 | 44  |
| 16 | 「エシカル消費」に興味がある。                             | 23 | 57  |
| 17 | 「エシカル消費」を実践している。                            | 7  | 29  |
| 18 | 今後は「エシカルな商品・サービス」を購入したい。                    | 31 | 70  |
| 19 | 「エシカル消費」は今の時代に合っている。                        | 44 | 78  |
| 20 | 日常生活の中で、「人や社会、環境に配慮した行動」を心がけている。            | 28 | 50  |

N=189 (6月) N=183 (12月) ※数値は肯定的評価(とてもそう思う・そう思う)の%

**分析** 6月のアンケートでは、品質・価格・節約等、自己の利害に絡む消費に関しては肯定的評価が高かったが、エシカル消費の認知をはじめとするキーワードの理解や、日常の実践に関する値が非常に低かった。しかしながら、社会貢献の意欲を要する生徒が78%存在し、進路実現においても地元志向が強いため、郷土愛を醸成する取組がエシカル消費教育の切り口になると考えた。

本年度のエシカルクラブの活動は、地域住民その他の関係機関との連携により推進した。また、全校生徒を対象に、専門家を招聘しての講演会を実施し、エシカル消費の基礎・基本を学習した。

12月のアンケートでは、全ての項目において、生徒のエシカル消費に対する知識や意識が大幅に向上したことが捉えられた。しかしながら、具体的実践には二極化が見られ、今後も反復的・継続的な啓発や地域と連携した活動が必要であると考えた。

### ★♥ エシカルクラブ員の感想 ♥★

**新居さくら (1年生)**  
ワークショップを通して、先進国と途上国の経済格差やあい路を体感できました。普段購入しているお菓子にも復興支援やフェアトレードに繋がる募金が含まれていることを知ったので、今後は途上国の力になれるような消費を心がけたいです。

**三木優也 (1年生)**  
エシカル消費の講演会やワークショップを通して、人、環境、そして世界に留意した消費活動の意義を知りました。今後は、寄付付き商品の購入やエコバックの使用等、できることから取り組みたいと思います。

